

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1兆2,694億円の収入となりました。前年同期比では、1,680億円(15.3%)増加しておりますが、これは、営業利益が増加したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」については、9,195億円の支出となりました。前年同期比では、317億円(3.3%)支出が減少しておりますが、これは、出資による支出が増加した一方で、設備投資等が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」については、1,910億円の支出となりました。前年同期比では、540億円(39.4%)支出が増加しておりますが、これは、自己株式の取得が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末におけるNTTグループの現預金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して1,623億円(19.1%)増加し、1兆114億円となりました。

(単位：億円)

	平成27年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	平成28年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	増減	増減率
営業活動による キャッシュ・フロー	11,014	12,694	1,680	15.3%
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,511	△9,195	317	3.3%
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,370	△1,910	△540	△39.4%

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

NTTグループは、平成27年5月に中期経営戦略「新たなステージをめざして2.0」を策定・公表し、「パリューパートナー」への自己変革を加速し、グループ全体を利益成長軌道へ乗せていくとともに、B2B2Xモデルをさらに推進し新たな市場を開拓していく取り組みを積極的に打ち出してきました。このような中、直近の状況を踏まえ、業績予想を以下のとおり見直いたします。

営業収益につきましては、海外事業の成長やスマートライフ領域及び国内SI事業の増収等を見込むことにより、当初計画比500億円増の11兆4,000億円に上方修正いたします。

一方、営業利益につきましては、順調なコストコントロールにより、当初計画比500億円増の1兆2,500億円に上方修正いたします。

連結業績予想の前提条件その他の関連する事項については、23ページをご参照ください。